

MOTOTRBO™

PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIO

XiR P6600 Series, XiR P6600i, XiR P6620i Portable Radio User Guide

JULY 2024

© 2024 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved.



MN008316A01-AD

目次

法務およびサポート	7
Intellectual Property and Regulatory Notices.....	7
法的および準拠に関する声明.....	8
重要な安全に関する情報.....	8
規制コンプライアンス情報.....	8
章 1: 最初にお読みください	9
1.1 ソフトウェア バージョン.....	10
章 2: はじめに	11
章 3: 無線機のお手入れ	12
章 4: はじめに	13
4.1 バッテリーの充電.....	13
4.2 バッテリーの取り付け.....	13
4.3 バッテリーの取り外し.....	14
4.4 アンテナの取り付け.....	14
4.5 アンテナの取り外し.....	15
4.6 キャリング ホルスターの取り付け.....	15
4.7 ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け.....	15
4.8 ユニバーサル コネクタ カバーの取り外し.....	15
4.9 アクセサリ コネクタの取り付け.....	16
4.10 無線機の電源のオン.....	16
4.11 無線機の電源のオフ.....	17
4.12 音量の調節.....	17
章 5: 無線機の概要	18
5.1 キーパッドの概要.....	21
5.2 プログラム可能ボタン.....	22
5.3 アイコン.....	23
5.3.1 ディスプレイ アイコン.....	24
5.3.2 高度なメニュー アイコン.....	25
5.3.3 通信アイコン.....	25
5.3.4 ミニ通知アイコン.....	26
5.3.5 送信 BOX アイコン.....	26
5.4 LED 表示.....	26
章 6: システムの概要	28
6.1 従来型アナログ モードおよびデジタル モード.....	28
6.2 Capacity Plus.....	28

章 7: ゾーンとチャネルの選択	30
7.1 ゾーンを選択.....	30
7.2 チャネル選択.....	30
章 8: 無線機通信のタイプ	31
8.1 無線機で通信を発信する.....	32
8.2 無線機での通信の受信と応答.....	32
章 9: 電話通話	33
9.1 電話通話の発信.....	33
9.2 コールの受信と応答.....	33
章 10: 音声割り込み	35
10.1 音声割り込みの有効化.....	35
章 11: 通信割り込みの開始	36
章 12: 高度な機能	37
12.1 アナログ メッセージ エンコード.....	37
12.1.1 デイスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信.....	37
12.1.2 連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信.....	37
12.2 アナログ ステータス更新.....	38
12.2.1 定義済み連絡先へのステータス更新の送信.....	38
12.2.2 5 トーン ステータスの詳細の表示.....	38
12.3 オートレンジ トランスポンダ システム.....	38
12.4 ページング操作.....	39
12.4.1 ページングの発信.....	39
12.4.2 ページングへの応答.....	39
12.5 通信インジケータ設定.....	40
12.5.1 テキスト付きテレメータ ステータスのオンとオフの切り替え.....	40
着信音をオンにする.....	40
着信音をオフにする.....	40
12.5.2 着信音スタイルの割り当て.....	40
12.5.3 アラート音タイプ.....	40
12.5.3.1 アラート音タイプの設定.....	41
12.5.4 バイブの強さの設定.....	41
12.6 通信履歴機能.....	41
12.6.1 最近の通信の表示.....	41
12.6.2 通信リストからの通信の削除.....	42
12.6.3 通信リストからの詳細の表示.....	42
12.7 連絡先設定.....	42
12.7.1 連絡先リストを使用したグループ通信または個別通信の発信.....	43
12.7.2 既定の連絡先の設定.....	43

12.8 動的な発信者のエイリアス.....	43
12.8.1 発信者のエイリアス リストの表示.....	43
12.8.2 個別通信を発信者のエイリアス リストから開始.....	43
12.9 緊急操作.....	44
12.9.1 緊急アラームの送信.....	45
12.9.2 通信による緊急アラームの送信.....	45
12.9.3 緊急アラームと音声ガイドの送信.....	45
12.9.4 緊急アラームの受信.....	46
12.9.5 緊急モードの再開.....	46
12.9.6 緊急モードの終了.....	46
12.10 正面パネル プログラミングの入力.....	47
12.11 ホーム チャネル リマインダ.....	47
12.11.1 ホーム チャネル リマインダのミュート.....	47
12.11.2 新しいホーム チャネルの設定.....	47
12.12 ローン ワーカー.....	47
12.13 モニタ機能.....	48
12.13.1 チャネルのモニタ.....	48
12.13.2 連続モニタ.....	48
12.13.2.1 連続モニタの設定.....	48
12.14 優先度モニタ.....	49
12.14.1 受信グループ リスト.....	49
12.15 リモート モニタ.....	49
12.15.1 リモート モニタの開始.....	50
12.16 ミュート モード.....	51
12.16.1 ミュート モードのオン.....	51
12.16.2 ミュート モード タイマーの設定.....	51
12.16.3 ミュート モードの終了.....	51
12.17 通知リスト.....	52
12.17.1 通知リストへのアクセス.....	52
12.18 エア接続プログラミング.....	52
12.19 スキャン.....	53
12.19.1 スキャンのオン.....	54
12.19.2 スキャンのオフ.....	54
12.19.3 スキャン トークバック.....	54
12.19.4 迷惑チャネル.....	55
12.19.4.1 迷惑チャネルの削除.....	55
12.19.4.2 迷惑チャネルの復元.....	55
12.19.5 投票スキャン.....	55
12.19.6 スキャン リスト.....	56

12.19.6.1 スキャン リストの優先度の編集.....	56
12.19.6.2 スキャン リストの表示.....	56
12.19.6.3 スキャン リストへの新規エントリの追加.....	57
12.19.6.4 スキャン リストからのエントリの削除.....	57
12.19.7 複数グループの加入.....	57
12.19.7.1 加入グループの追加.....	57
12.19.7.2 加入グループの削除.....	58
12.20 応答禁止.....	58
12.20.1 応答禁止の設定.....	58
12.21 無線機チェック.....	59
12.21.1 無線機チェックの送信.....	59
12.22 受信信号強度インジケータ.....	59
12.22.1 RSSI 値の表示.....	59
12.23 レンタル タイマー.....	59
12.23.1 レンタル タイマー情報へのアクセス.....	60
12.23.2 レンタル有効期限通知.....	60
12.23.3 レンタル期間の延長.....	60
12.24 セキュリティ.....	61
12.24.1 無線機の無効化.....	61
12.24.2 無線機の有効化.....	61
12.25 サービスとサポート.....	62
12.25.1 通知アクセス.....	62
12.25.2 サービスとサポートへのアクセス.....	63
12.25.3 サービス連絡先の表示.....	63
12.26 テキスト メッセージング.....	64
12.26.1 テキスト メッセージの表示.....	64
12.26.2 テキスト メッセージの送信.....	64
12.26.3 テキスト メッセージへの応答.....	65
12.26.4 テキスト メッセージの転送.....	65
12.26.5 テキスト メッセージの削除.....	66
章 13: ユーティリティ.....	67
13.1 ダイレクト モード.....	67
13.1.1 リピータとダイレクト モードの切り替え.....	67
13.2 無線機のトーンとアラートの設定.....	67
13.3 パワー レベルの設定.....	68
13.4 ディスプレイ設定の調整.....	68
13.5 スケルチ レベルの設定.....	68
13.6 キー ロック オプション.....	69
13.6.1 キーパッドのロックとロック解除.....	69

13.7 言語の設定.....	69
13.8 LED インジケータの設定.....	69
13.9 パスワード ロック.....	70
13.9.1 パスワードによる無線機へのアクセス.....	70
13.9.2 ロック状態の無線機をロック解除する.....	70
13.9.3 パスワード ロックの設定.....	71
13.9.4 パスワードの変更.....	71
13.10 音声ガイダンス.....	71
13.10.1 音声ガイドの設定.....	72
13.11 自動通信転送の設定.....	72
13.12 マイクの自動ゲイン制御の設定.....	72
13.13 ノイズ抑制の設定.....	73
13.14 ハウリング抑制機能の設定.....	73
13.15 インテリジェント オーディオの設定.....	73
13.16 プライバシー.....	73
13.16.1 プライバシーの設定.....	74
13.16.2 秘話対応通信.....	74
13.17 音声起動送信 (VOX).....	74
13.17.1 音声起動送信の設定.....	75
13.18 無線機情報へのアクセス.....	75
章 14: 認定アクセサリ リスト.....	76

法務およびサポート

知的財産および規制に関するご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明確な許可なしに、いかなる方法においても複製または複写してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、転送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS, and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners.

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下で使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にキャスター付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、このキャスター付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

免責条項


特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイルサブスクライバユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する可能性があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2024 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

法的小よび準拠に関する声明

重要な安全に関する情報

携帯型業務用無線機に関する RF エネルギー被爆および製品の安全に関するガイド

 **注意：**
この無線機は業務用の利用に限定されています。この製品をご使用になる前に、無線機に同梱されている『電磁波エネルギー被曝および製品の安全に関するガイド』をお読みください。このガイドには、安全な使用方法、電磁波エネルギーの認識、および該当する規格や規制への準拠の制御に関する操作手順が記載されています。

タイで利用可能なモデル:

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการ
โทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission の要件に適合しています。

規制コンプライアンス情報

中国

CMIIT ID は、無線機器識別ラベルに表示されます。

インド

この製品は、インド政府通信省電気通信局 (インド、ニューデリー、110001) の TEC の必須要求事項に準拠しています。

章 1

最初にお読みください

このユーザーガイドでは、お住まいの地域で提供される無線機モデルの基本的な操作について説明します。

このマニュアルで使用されている表記

本書のテキスト全体を通じて、**警告**、**注意**、および**注**が使用されています。これらの表記は、安全上の危険が存在すること、および注意を払うまたは注意する必要があることを強調するために使用されています。



警告：注意して守らないと負傷や死亡につながる可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注意：注意して守らないと装置が損傷する可能性のある操作手順、慣行、状態など。



注：特に重要な操作手順、慣行、状態など。

特記事項

このガイドでは、次の特記事項を使用して特定の情報や項目を強調します。

表 1: 特記事項

例	説明
メニュー キーまたは PTT ボタン	太字は、キー、ボタン、またはソフトメニュー項目の名前を示します。
無線機に「Bluetooth オン」と表示されます。	かぎ括弧で囲まれた語句は、無線機に表示される操作項目やメッセージを示します。
<必要な ID>	クーリ工、太字、斜体、および山形括弧は、ユーザーの入力を示します。
[設定] → [トーン] → [全トーン]	太字の語とその間の矢印は、メニュー項目のナビゲーション構造を示します。

機能およびサービスの可用性



注：お使いの無線機では、マニュアルのすべての機能が使用できるわけではありません。一部の機能は地域によって異なります。販売店や管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

以下については、販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

- 各ボタンの機能は何か？
- 自分のニーズに対応するアクセサリはどれか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機を長く使用するための保守手段は何か？

1.1

ソフトウェア バージョン

次のセクションで説明されているすべての機能は、次のソフトウェア バージョンでサポートされます。

R02.24.01.1000 以降。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

章 2


はじめに

このユーザー ガイドは、地域で提供される最上位クラスのモデルに従って作成されています。

次の表に、異なる無線機モデルの機能にアクセスする方法を示します。無線機モデルによって異なる通知を受け取ります。

表 2: 異なる無線機モデルでの機能へのアクセスと通知

	リミテッド キーパッド	ノンキーパッド
無線機モデル	図 1: XiR P6620/XiR P6620i	図 2: XiR P6600/XiR P6600i
		
機能へのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> メニュー プログラム可能ボタン 	プログラム可能ボタン
機能の通知	<ul style="list-style-type: none"> トーン LED インジケータ ディスプレイ 音声ガイドまたは音声変換 	<ul style="list-style-type: none"> トーン LED インジケータ 音声ガイドまたは音声変換

 注: プログラム可能ボタンで使用できる機能については、[プログラム可能ボタン ページ 22](#) トピックを参照してください。


章 3

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 3: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP67	無線機は、水深 15 cm ~ 1 m の水中に 30 分間さらされる、ほこりに 2 ~ 8 時間さらされるなどの悪条件に耐えます。

 **注意:** 無線機を分解しないでください。分解すると無線機の密封部分が損傷し、無線機に漏洩箇所が生じることがあります。無線機のメンテナンスは、無線機の密封部分のテスト、交換が可能なサービスステーションで実施してください。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカグリルやマイクポート内に入り込んでいる可能性のある水を除去してください。水が入り込むと、音声が劣化することがあります。
- 無線機のバッテリーの接触面が水に濡れた場合は、バッテリーを無線機に接続する前に、無線機およびバッテリーのバッテリー接触面をクリーニングして乾かしてください。水が残ると、無線機がショートすることがあります。
- 無線機が腐食性物質（たとえば、塩水）に浸かった場合は、無線機およびバッテリーをきれいな水ですすいでから無線機およびバッテリーを乾かしてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水（たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤）を使用してください。
- バッテリー接触面の下に無線機シャーシにあるベント（穴）を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機へのリークパスが生じ、無線機の防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- アンテナが正しく取り付けられた無線機は最深 1 メートル (3.28 フィート)、最長 30 分の防水性能を備えています。最大限度値を超えたり、アンテナなしで使用したりすると、無線機が損傷するおそれがあります。
- 無線機をクリーニングする際には、高圧ジェットスプレーを使用しないでください。水深 1 メートルの水圧を超えるので、無線機に水が浸入する場合があります。

章 4

はじめに

この章では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

4.1

バッテリーの充電

お使いの無線機は、電源にニッケル水素 (NiMH) またはリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーを使用しています。

前提条件: 充電中は無線機の電源を切ってください。

手順:

- バッテリーは常に安全な場所で充電してください。バッテリーの充電後は、少なくとも 3 分間たってから無線機の電源を入れてください。
- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、Motorola Solutions 承認充電器でバッテリーを充電してください。
- 最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 ~ 16 時間充電してください。

バッテリーの充電は室温であるのが最適です。

- IMPRES™ バッテリーの充電には、バッテリーの寿命とバッテリーの貴重なデータを最適な状態で保つために、必ず IMPRES 充電器をご使用ください。

IMPRES 充電器のみで充電された IMPRES バッテリーは、標準の Motorola Solutions Premium バッテリー保証期間に加え、容量保証が 6 か月延長されます。

4.2

バッテリーの取り付け

手順:

1. 無線機の裏側のレールとバッテリーを合わせます。
2. バッテリーをしっかりと押し、ラッチが収まるまで上にスライドさせます。
3. バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。

後行条件:**注:**

無線機の認証タイプが UL/FM に設定されていて、認識されない/正しくない/不明なバッテリーが接続されている場合、無線機には次の通知が表示されます。

- 認識されないバッテリー:
 - 赤色の LED が点滅します。
 - ディスプレイに 5 秒間隔で [認識されないバッテリー] と表示されます。
- 正しくないバッテリー:
 - 低い警告トーンが鳴ります。
 - 赤色の LED が点滅します。
 - ディスプレイに [バッテリー エラー] と表示されます。
 - CPS を使用してロードされた場合の音声ガイドまたは音声変換の音です。
- 不明バッテリー:
 - アラート トーンが鳴ります。
 - ディスプレイに [不明バッテリー] と表示されます。
 - バッテリー アイコンが無効になります。

UL バッテリーを FM 認定の無線機に接続した場合 (またはその逆の場合)、無線機の認定が無効になります。

無線機にサポートされていない/正しくない/認識されないバッテリーが取り付けられている場合は、すぐに正しいバッテリーと交換してください。

4.3

バッテリーの取り外し

前提条件: 無線機の電源がオフになっていることを確認します。

手順:

バッテリー ラッチをロック解除ポジションに移動させそのままの状態を保ちます。バッテリーを下にスライドさせ、レールから外します。

4.4

アンテナの取り付け

手順:

1. アンテナをレセプタクルにセットします。
2. アンテナを時計回りに回します。



注: アンテナを固定することで、無線機に水やほこりが侵入するのを防ぐことができます。



注意: 損傷を防ぐため、故障したアンテナは MOTOTRBO アンテナのみと交換してください。

4.5 アンテナの取り外し

手順:

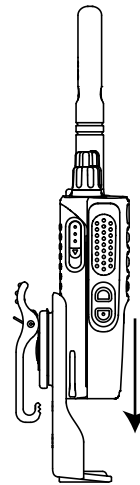
1. アンテナを反時計回りに回します。
2. アンテナをレセプタクルから取り外します。

4.6 キャリングホルスターの取り付け

手順:

1. キャリングホルスターのレールをバッテリーの溝に合わせます。
2. カチッという音が聞こえるまで押し下げます。

図 3: キャリングホルスターの取り付け



4.7 ユニバーサルコネクタカバー (ダストカバー) の取り付け

手順:

1. カバーの斜めの突起が付いている方を、ユニバーサルコネクタの上のスロットに挿入します。
2. カバーを押し下げ、カバーがユニバーサルコネクタに正しく収まるようにします。
3. ラッチを押し上げて、コネクタカバーを無線機に固定します。

4.8 ユニバーサルコネクタカバーの取り外し

手順:

1. ラッチを下に押します。

2. カバーを持ち上げて、ダスト カバーをユニバーサル コネクタから下にスライドさせます。

後行条件: ユニバーサル コネクタを使用しないときは、ダスト カバーを取り付けておきます。

4.9

アクセサリ コネクタの取り付け

手順:

1. 斜めの突起が付いている方を、ユニバーサル コネクタの上のスロットに挿入します。
2. コネクタを押し上げます。
3. カチッという音が聞こえるまでアクセサリ コネクタを押し下げます。

図 4: アクセサリ コネクタのリミテッド キーボード無線機への接続

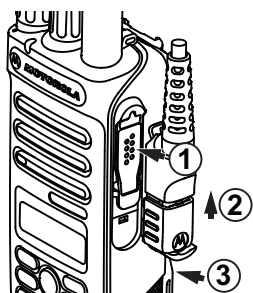
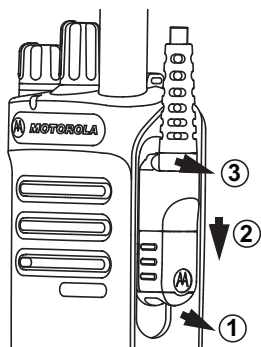


図 5: アクセサリ コネクタのキーボードなし無線機への接続



4.10

無線機の電源のオン

手順:

カチッという音が聞こえるまで、オン/オフ/音量ノブを時計回りに回します。

結果:

無線機がオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注: トーン/アラート機能が無効になっている場合、トーンは鳴りません。

- 緑色の LED が点灯します。

- ホーム画面が点灯します。



注:

バッテリーが充電され、正しく取り付けられているにもかかわらず無線機の電源がオンにならない場合は、ディーラーにお問い合わせください。

4.11

無線機の電源のオフ

手順:

カチッという音が聞こえるまで、**オン/オフ/音量ノブ**を反時計回りに回します。

結果: ディスプレイに「でんげんシャットダウン」と表示されます。

4.12

音量の調節

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 音量を上げるには、**オン/オフ/音量ノブ**を時計回りに回します。
- 音量を下げるには、**オン/オフ/音量ノブ**を反時計回りに回します。



注:

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。音量レベルはプログラムされた最小音量より下げることはできなくなります。

章 5

無線機の概要

無線機の概要では、無線機のボタン、アイコン、および LED の表示について説明します。

図 6: リミテッドキーパッドモデル



表 4: コールアウトの凡例

ラベル	項目	説明
1	チャンネル セレクタ ノブ	チャンネルを選択します。
2	オン/オフ/音量ノブ	無線機をオンまたはオフにして、音量を調整します。
3	LED インジケータ	赤、緑、および黄の発光ダイオードが動作ステータスを示します。
4	プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	音声操作 (グループ通信や個別通信など) を実行します。
5	マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。

ラベル	項目	説明
6	サイド ボタン	これらのボタンは、顧客プログラミングソフトウェア (CPS) を使用して現場でプログラムできます。
7	メニュー ナビゲーション ボタン	メニュー ナビゲーションおよび選択インターフェイスを提供するための 5 つのボタンです。
8	液晶ディスプレイ (LCD)	65 x 132 グレースケール ディスプレイでは、無線機の多くの機能に関する視覚的な情報が得られます。
9	スピーカ	無線機によって生成されるすべてのトーンおよび音声を出力します (キーパッドのトーンや音声オーディオなどの機能)。
10	ユニバーサル コネクタ	無線機と一緒に使用するすべてのアクセサリのインターフェイス ポイント。特定のアクセサリを接続し、アクティブにする 12 個のポイントを備えています。
11	アンテナ	送受信時に必要とされる RF 増幅を提供します。

図 7: キーパッドなしモデル



表 5: コールアウトの凡例

ラベル	項目	説明
1	チャンネル セレクタ ノブ	チャンネルを選択します。
2	オン/オフ/音量ノブ	無線機をオンまたはオフにして、音量を調整します。
3	LED インジケータ	赤、緑、および黄の発光ダイオードが動作ステータスを示します。
4	プッシュトゥトーク (PTT) ボタン	音声操作 (グループ通信や個別通信など) を実行します。
5	マイク	PTT または音声操作がアクティブのときに音声を送信できます。
6	サイド ボタン	これらのボタンは、顧客プログラミングソフトウェア (CPS) を使用して現場でプログラムできます。
7	スピーカ	無線機によって生成されるすべてのトーンおよび音声を出力します (キーパッドのトーンや音声オーディオなどの機能)。
8	ユニバーサル コネクタ	無線機と一緒に使用するすべてのアクセサリのインタフェース ポイント。特定のアクセサリを接続し、アクティブにする 12 個のポイントを備えています。
9	アンテナ	送受信時に必要とされる RF 増幅を提供します。

5.1 キーパッドの概要

図 8: キーパッドの概要



表 6: キーパッドの概要

ラベル	ボタン名	説明
1	左ボタン	左を押してオプションをナビゲートします。
2	メニュー ボタン	押すと、メニュー機能にアクセスできます。
3	プログラム可能ボタン 1 (P1)	このボタンは、顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) を使用して現場でプログラムできます。
4	プログラム可能ボタン 2 (P2)	このボタンは、CPS を使用して現場でプログラムできます。
5	バック/ホーム ボタン	押すと、前の画面に戻ります。 長押しすると、ホーム画面に戻ります。
6	右ボタン	右を押してオプションをナビゲートします。
7	OK ボタン	メニューでは、このキーを使用して選択します。

5.2

プログラム可能ボタン

プログラミングソフトウェアを使用して、プログラム可能ボタンを次の無線機機能へのショートカットとしてプログラムできます。



注: 詳細については、販売店にお問い合わせください。

表 7: プログラム可能な無線機機能

機能	説明
アクション リスト	アクション リストを起動し、アクション リストから機能を開始できます。
すべてのアラート トーン	すべてのトーンとアラートをオンまたはオフに切り替えることができます。
アナログ スクランブル	アナログ スクランブル機能をオンまたはオフに切り替えることができます。
アナログ スクランブル コード	アナログ スクランブル コード機能をオンまたはオフに切り替えることができます。
音声プロファイル	優先される音声プロファイルを選択できます。
音声切替	内部無線機スピーカと有線アクセサリ スピーカの間でオーディオルーティングを切り替えることができます。
バックライト	ディスプレイのバックライトをオンまたはオフに切り替えることができます。
バックライト輝度	輝度レベルを調整できます。
バッテリー インジケータ	バッテリー レベルの現在のステータスを確認できます。
ページング。	連絡先リストに直接アクセスし、ページングを送信するために必要な連絡先を選択できます。
通信転送	通信転送をオンまたはオフに切り替えることができます。
通信履歴	通信履歴のリストを選択できます。
チャンネル アナウンス	現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを再生できます。
確定	機能を確定できます。
連絡先	連絡先リストに直接アクセスできます。
緊急通信オフ	発信中の緊急通信を終了できます。
緊急通信オン	緊急通信を設定できます。
インテリジェント オーディオ	インテリジェント オーディオをオンまたはオフに切り替えることができます。
[Mic AGC] (マイク AGC)	内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) をオンまたはオフに切り替えることができます。
モニタ	チャンネルをモニタできます。
通知	通知リストに直接アクセスできます。
迷惑チャンネル削除	選択したチャンネルを除き、スキャン リストから不要なチャンネルを一時的に削除できます。削除された迷惑チャンネルは、たとえば無線機の電

機能	説明
	源をオフにしてから再度オンにすると、スキャン リストに復元されま す (Capacity Plus では利用不可)。
ワンタッチ アクセス	事前に定義された通信機能に直接アクセスできます。
連続モニタ	機能が無効になるまで、すべての無線機トラフィックの選択されたチ ャネルをモニタすることができます (Capacity Plus では利用不可)。
電話	電話連絡先リストに直接アクセスできます。
パワー レベル	送信出力を高または低に切り替えることができます。
プライバシー	プライバシーをオンまたはオフに切り替えることができます。
無線エイリアスと ID	無線エイリアスと ID を提供します。
無線機チェック	システムで無線機がアクティブかどうかを確認できます。
無線機の有効化または無効化	ターゲット無線機を遠隔で有効または無効にできます。
リピータまたはダイレクト	リピータを使用するか、別の無線機と直接通信するかを切り替えるこ とができます。
ホーム チャンネルのリセット	新しいホーム チャンネルを選択できます。
スキャン	スキャンをオンまたはオフに切り替えることができます。
ホーム チャンネル リマインダのミ ュート	ホーム チャンネル リマインダをミュートできます。
テキスト メッセージ	テキスト メッセージ メニューを選択できます。
TX 割り込みリモート停止	チャンネルを解放するために、送信無線のキーを解除して進行中の音声 通信を停止したり、リピータ通信のハング タイムを終了したりできま す。このボタンを使用して、リモート モニタ セッションを終了する こともできます。
トリル拡張	トリル拡張をオンまたはオフに切り替えることができます。
音声ガイドンス	音声ガイドをオンまたはオフに切り替えることができます。
音声起動送信 (VOX)	VOX をオンまたはオフに切り替えることができます。
ゾーン選択	ゾーンのリストからの選択を可能にします。

5.3

アイコン

アイコンは、ディスプレイ付き無線機でのみ表示されます。

無線機のディスプレイには、無線機のステータス、テキスト エントリ、メニュー エントリが表示されます。

5.3.1






ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータス バーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。

表 8: ディスプレイ アイコン

アイコン	説明
	バッテリー
	Bluetooth 接続
	Bluetooth 未接続
	緊急モード
	大量データ
	モニタ
	ミュート モード
	通知
	無線 (Over-the-Air) プログラミング遅延タイマー
	高出力
	低出力
	受信信号強度インジケータ (RSSI)
	応答禁止
	スキャン ¹
	スキャン優先度 1 または優先度 2 ¹
	セキュア

¹ Capacity Plus では利用不可です。

アイコン	説明
	サービス&サポート
	¹ ダイレクトモード
	トーン無効
	非セキュア
	投票スキャン

5.3.2

高度なメニューアイコン

以下のアイコンは、2つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。

表 9: 高度なメニューアイコン


アイコン	説明
	チェックボックス (チェックされている)
	チェックボックス (空)
	黒く塗りつぶされたボックス


5.3.3

通信アイコン

以下は、通信中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは連絡先リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。

表 10: 通信アイコン

アイコン	説明
	個別通信
	グループ通信/一斉通信
	グループ通信または一斉通信としての通話




アイコン	説明
	個別通信としての通話

5.3.4

ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬間的に表示されます。

表 11: ミニ通知アイコン

アイコン	説明
	送信に失敗 (ネガティブ)
	送信に成功 (ポジティブ)
	通信処理中 (経過)

5.3.5

送信 BOX アイコン

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。

表 12: 送信 BOX アイコン

アイコン	説明
 または 	処理中
 または 	送信失敗
 または 	送信完了

5.4

LED 表示

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

有資格技術者は、事前プログラミングによって LED 表示を恒久的に無効にすることができます。

表 13: LED 表示

表示	状態
赤色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線機はバッテリーの不一致を示しています。² ● 無線機は電源投入時のセルフテストに失敗しました。 ● 無線機は緊急送信を受信しています。 ● 無線機は低バッテリー状態で送信しています。 ● オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。 ● ミュート モードが有効です。
黄色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線機は従来型チャンネルをモニタしています。
黄色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線機はページングにまだ応答していません。 ● 無線機はアクティビティをスキャンしています。
黄色の 2 回点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線機の自動ローミング機能が有効です。 ● 無線機が新規サイトを検索しています。 ● 無線機はグループのページングにまだ応答していません。 ● 無線機はロックされています。 ● Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。
緑色の点灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線機が電源オンになっています。 ● 無線機は送信を行っています。 ● 無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。
緑色の点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線機は通信またはデータを受信しています。 ● 無線機は無線プログラミング送信を取得しています。 ● 無線機は無線接続アクティビティを検出しています。 <p> 注：このアクティビティによるプログラム済みチャンネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。</p>
緑色の 2 回点滅	無線機はプライバシー対応通信またはデータを受信しています。

² 最新のソフトウェアおよびハードウェアをもつモデルのみに適用されます。

章 6

システムの概要

システムの概要では、無線機で使用できるシステムとモードのタイプについて説明します。

6.1

従来型アナログ モードおよびデジタル モード

無線機の各チャネルを、従来型アナログ チャネルが従来型デジタル チャネルとして設定できます。

デジタル モードからアナログ モード、アナログ モードからデジタル モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。また、一部の機能は、両方のモードで使用できます。

各機能の動作には若干の違いがありますが、無線機のパフォーマンスには影響しません。

6.2

Capacity Plus

Capacity Plus は、コスト効率に優れたエントリーレベルのデジタル トランキング システムです。シングルサイトとマルチサイトの容量と通信範囲を拡張します。シングルおよびマルチサイトの動的トランキングで、より大きな通信容量と通信範囲に対応します。



注: プログラム可能ボタンを使用して Capacity Plus-シングルサイトまたは Capacity Plus-マルチサイトに適用できない機能にアクセスしようとすると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

Capacity Plus-シングルサイト

Capacity Plus-シングルサイトは、MOTOTRBO 無線機システムのシングルサイト トランキング構成であり、多数のユーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャネル プールを使用します。

この構成により、リピータ モードのとき、お使いの無線機で利用可能なプログラム済みチャネルの数を有効活用できます。

無線機には、従来型デジタル モード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能もあります。

Capacity Plus-マルチサイト

Capacity Plus-マルチサイトは、Capacity Plus と IP Site Connect 構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムのマルチチャネル トランキング構成です。これは、Linked Capacity Plus とも呼ばれます。

この機能を使用すると、無線機は IP ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続するので、シングルサイトでは通信範囲外となる地域とのトランキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートされている利用可能なプログラム済みチャネルは組み合わせられて効率的に利用されるため、容量も増加します。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通信またはデータを送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動または手動で行われます。

自動

現在のサイトからの信号が弱い場合や信号をまったく検出できない場合、無線機は、利用可能なサイトをすべてスキャンし、RSSI 値が最も強いリピータにロックします。

手動

無線機は、ローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

Capacity Plus マルチサイトが有効になっているチャンネルは、ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。



注: 手動では、ローミング リスト内のエントリの追加や削除はできません。

章 7

ゾーンとチャンネルの選択

ゾーンとは、チャンネルのグループのことです。チャンネルごとに、異なるユーザーグループをサポートするさまざまな機能をプログラムできます。

表 14: サポートされているゾーンとチャンネルの数

モデル	ゾーン	チャンネル	ゾーンごとのチャンネル数
リミテッドキーパッド無線機	50	256	16
キーパッドなし無線機	4	64	16

7.1

ゾーンの選択

手順:

メニューから [ゾーン] → <[必要なゾーン]> を選択します。

結果: ディスプレイに <[ゾーン]>せんたくずみ] と表示されます。



注: キーパッドがないすべての無線機では、ゾーン選択のために音声ガイド機能を有効にすることをお勧めします。音声ガイド機能は、無線機プログラミングソフトウェアでのみ有効にできます。

7.2

チャンネル選択

手順:

チャンネルセレクタノブを回します。



注: [仮想チャンネル停止] が有効になっている場合、無線機は最初または最後のチャンネルを超える境界で停止し、トーンが聞こえます。

結果: 無線機が優先するチャンネルに切り替わります。

章 8

無線機通信のタイプ

無線機で通話を発信するには、無線機で利用可能な通信方法とシステムに応じて、いくつかの方法があります。

表 15: 無線機通信のタイプ

通信タイプ	説明
グループ通信	グループ通信は、ポイントツーマルチポイント通信操作です。相互に通信するには、無線機がグループのメンバーとして設定されている必要があります。
ブロードキャスト音声通信	ブロードキャスト音声通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。ブロードキャスト通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません。
個別通信	個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。無線機の状態チェックを実行したあとか、あるいは直接すぐに個別通信を設定できます。
選択通信	選択通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。この機能はアナログシステムでのみサポートされています。
一斉通信	一斉通信は、1 台の無線機からサイトの各無線機またはサイト グループの各無線機への通信です。この機能は、重要なお知らせを行うために使用されます。
未アドレス通信	未アドレス通信とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通信です。
オープン音声チャンネル モード (OVCM)	OVCM とは、グループまたは個別通信中に特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機からの通信です。OVCM グループ通信はブロードキャスト通信に対応しています。


通信が中断されると、連続した通信禁止音が聞こえます。PTT ボタンを放すと、通信を受信できます。

チャンネル フリー指示機能は、販売店が無線機でプログラムできます。チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、受信者が PTT ボタンを放したときに、短いアラート トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

8.1 無線機で通信を発信する

手順:

通信のタイプに基づいて、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
グループ通信、個別通信、アドレス指定されていない通信、または選択通信の発信	<p>a. アクティブな ID またはエイリアスがあるチャンネルを選択します。</p> <p>b. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。</p> <p>c. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。</p> <p> 注: グループ通信の場合、PTT サイドトーンが完了するまで待機し、有効になったら、マイクに向かって話してください。</p> <p>d. 受話するには、PTT ボタンを放します。</p>
ブロードキャスト通信、一斉通信、または OVCM 通信の発信	<p>a. アクティブなグループ ID またはエイリアスがあるチャンネルを選択します。</p> <p>b. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。</p>

無線機が、音声アクティビティを事前に設定された期間検出しない場合、通信は終了します。

8.2 無線機での通信の受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。
- ディスプレイに ID、エイリアス、通信ステータスが表示されます。



注: ブロードキャスト通信または一斉通信には応答できません。

手順:

1. 応答するには、PTT ボタンを押し続けます。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。



注: グループ通信の場合、PTT サイドトーンが完了するまで待機し、有効になったら、マイクに向かって話してください。

3. 受話するには、PTT ボタンを放します。

章 9

電話通話

電話通話は、個別の無線機または無線機グループと電話機との間の通信です。

無線機の設定方法によって、以下の機能が利用できる場合とできない場合があります。

- アクセスコード。
- デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーン。
- ディアクセスコード。
- 電話通信受信時の発信者のエイリアスまたは ID の表示。
- 電話通信を受けるか受けないかを選択できる機能。

電話通話機能は、システムで電話番号を割り当てて設定することによって有効にすることができます。無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

9.1

電話通話の発信

手順:

1. プログラムされた [PTT] ボタンを押して、必要なエイリアスまたは ID を選択します。
2. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
3. 受話するには、PTT ボタンを放します。
4. 通話を終了するには、プログラムされた [PTT] ボタンを押します。

結果: 通信が正常に終了した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [つうわしゅうりょう] と表示されます。

9.2

コールの受信と応答

通信を受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。
- ディスプレイに、電話通信アイコンと通信ステータスが表示されます。

手順:

1. 通信に応答するには、PTT ボタンを押し続けます。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
3. 受話するには、PTT ボタンを放します。

4. 通信を終了するには、**バック/ホーム** ボタンを選択します。



注: お使いの無線機では、電話通話をグループ コールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

結果: 通信が正常に終了した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディ스플레이に [つうわしゅうりょう] と表示されます。

章 10

音声割り込み

音声割り込みを使用すると、無線機は進行中の通信を終了できます。

音声割り込み機能は、逆チャンネル シグナリングを使用して進行中の通信に割り込みます。割り込み中に音声送信を行うことができます。

音声割り込み機能によって、通信中の受信者に対して新たに送信を行う確率が大幅に上がります。

この機能が無線機にプログラムされている場合は、音声割り込みにアクセスできます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

10.1

音声割り込みの有効化

手順:

1. 通信中に送信に割り込むには、PTT ボタンを長押しします。
2. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。

章 11

通信割り込みの開始

手順:

進行中の通信に割り込むには、次のいずれかの操作を実行します。

- PTT ボタンを押します。
- [緊急] ボタンを押します。
- データ送信を実行します。
- プログラムされた [TX 割り込みリモート停止] ボタンを押します。

結果:

受信無線機に [つうしん わりこみ] と表示されます。

章 12

高度な機能

この章では、無線機で使用できる機能の操作について説明します。

12.1

アナログ メッセージ エンコード

無線機では、メッセージ リストから無線エイリアスまたはディスパッチャに、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

12.1.1

ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信

手順:

メニューから [メッセージ] → [クイック テキスト] → <[必要なメッセージ]> を選択します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.1.2

連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信

手順:

メニューから [メッセージ] → [クイック テキスト] → <[必要なメッセージ]> → <[必要な連絡先]> を選択します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.2

アナログ ステータス更新

無線機では、現在のアクティビティを示すステータス リストから無線機の連絡先 (5 トーン システム) または ディスパッチャ (Motorola データ通信システム) に、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

Motorola データ通信 (MDC) システムでは、最後に確認されたメッセージはステータス リストの一番上に保持されます。他のメッセージは英数字順に並べられます。

12.2.1

定義済み連絡先へのステータス更新の送信

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- Motorola データ通信 (MDC) システムの場合は、メニューから [ステータス] → <[必要なステータス]> → [しよきちにセット] → [メニュー/OK] を選択します。
- 5 トーン システムの場合は、メニューから [ステータス] → <[必要なステータス]> → [しよきちにセット] を選択します。

結果:

MDC システムでは、リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

MDC システムでは、リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

5 トーン システムでは、要求が成功した場合、無線機のディスプレイの確認済みステータスの隣に ✓ が表示されます。

5 トーン システムでは、要求が失敗した場合、無線機のディスプレイにある前のステータスの隣に ✓ が表示されます。

12.2.2

5 トーン ステータスの詳細の表示

前提条件: ソフトウェアライセンス キーを購入します。

手順:

メニューから [ステータス] → <[必要なステータス]> → [しよさい] を選択します。

結果: ディスプレイに選択したステータスの詳細が表示されます。

12.3

オートレンジ トランスポンダ システム

オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知するよう設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。

無線機は、次のような通知を表示します。

表 16: オートレンジ トランスポンダ システム通知

表示	説明
初回警告	<ul style="list-style-type: none"> トーンが鳴ります。 ディスプレイで、チャンネル エイリアスの後に「エリアない」が表示されます。
ARTS 通信圏内警告	<ul style="list-style-type: none"> プログラムされている場合はトーンが鳴ります。 ディスプレイで、チャンネル エイリアスの後に「エリアない」が表示されます。
ARTS 通信圏外警告	<ul style="list-style-type: none"> トーンが鳴ります。 赤色の LED が素早く点滅します。 ディスプレイに、「けんがい」とホーム画面が交互に表示されます。

12.4

ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になったらかけ直すよう、受信者に通知できます。この機能は、無線機のサブスクライバ エイリアスまたは ID にのみ適用されます。

12.4.1

ページングの発信

手順:

メニューから、**[れんらくさき]** → **<[必要な ID またはエイリアス]>** → **[ページング]** を選択します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.4.2

ページングへの応答

ページングを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイには、ページングの通知リストと発信者の ID が表示されます。

手順:

PTT ボタンを押して、個別通信で発信者に応答します。

12.5

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキストメッセージの着信音を設定できます。

12.5.1

テキスト付きテレメータ ステータスのオンとオフの切り替え

個別通信、テキストメッセージ、通信アラート、テキスト付きテレメータ ステータス、および指定通信の呼び出し音を有効または無効にできます。

着信音をオンにする

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [トーン/アラート] → [ちゃくしんおん] を選択します。
2. 必要なトーンを選択します。

結果:

着信音を有効にすると、無線機のディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

着信音をオフにする

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [トーン/アラート] → [ちゃくしんおん] を選択します。
2. [Off] を選択します。

結果:

着信音を無効にすると、無線機のディスプレイの [オフ] の隣に ✓ が表示されます。

12.5.2

着信音スタイルの割り当て

個別通信、ページング、またはテキストメッセージを受信したとき、無線機で事前に定義された 11 個の着信音のいずれかを再生するようにプログラムできます。

手順:

メニューから [れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [ひょうじ/へんしゅう] → [ちゃくしんおん] → <[必要なトーン]> を選択します。


12.5.3

アラート音タイプ

通信を受信するときに無線機が振動するようにプログラムできます。選択した着信音スタイルに応じて、無線機が 1 回または繰り返し振動します。

バイブ機能がサポートされているバッテリーが振動ベルトクリップに取り付けられている場合、[アラートタイプ] オプションは、[サイレント]、[よびだしおん]、[バイブ]、および [着信音とバイブ] です。

バイブ機能がサポートされていないバッテリーが振動ベルト クリップに取り付けられていない場合、[アラートタイプ] は自動的に [よびだしおん] に設定されます。使用可能な [アラートタイプ] オプションは [サイレント] と [よびだしおん] です。

 注: [ぜんトーン] ステータスが有効の場合、無線機にはアラート音タイプが表示されます。[ぜんトーン] ステータスが無効である場合、[ぜんトーンしょうおん] アイコンが表示されます。

12.5.3.1

アラート音タイプの設定

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [トーン/アラート] → [アラートタイプ] を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - サイレント
 - よびだしおん

12.5.4

バイブの強さの設定

バイブ機能をサポートするバッテリーを搭載した無線機に振動ベルト クリップを取り付けると、[バイブのつよさ] が有効になります。

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [トーン/アラート] → [バイブの強さ] を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - みじかい
 - 中
 - ながい

12.6

通信履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別通信をすべて記録します。最近の通信の表示および管理を行うには、通信履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通信履歴に含めることができます。各通信リストでは次のタスクを実行できます。

- 詳細の表示
- 通信の削除

12.6.1

最近の通信の表示

手順:

1. メニューから [つうわりれき] を選択します。
2. 次のいずれかのリストを選択します。

- 不在着信
- へんとうずみ
- はっしん

3. リストをスクロールして通信を表示します。

結果: ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

12.6.2

通信リストからの通信の削除

手順:

メニューから → [つうわ りれき] → <[必要なリスト]> → <[必要な ID またはエイリアス]> → [エントリをさくじょ?] を選択します [はい] を選択します。



注: [いいえ] を選択すると、無線機は前の画面に戻ります。リストが空の場合はトーンが鳴り、ディスプレイに [リストにありません] と表示されます。

結果: ディスプレイに [にゅうりよくさくじょずみ] と表示されます。

12.6.3

通信リストからの詳細の表示

手順:

メニューから → [つうわ りれき] → <[必要なリスト]> → <[必要な ID またはエイリアス]> → [しょうさい] を選択します。

12.7

連絡先設定

[れんらく さき] メニューには、無線機のアドレス帳機能があります。各エントリは、通信を発信するための ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリでは、設定に応じてさまざまな通信タイプがサポートされます。連絡先エントリには、通信タイプ、通信エイリアス、および通信 ID 情報が表示されます。

クイックダイヤルとして、プログラム可能な数値キーにエントリを割り当てることができます。各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。空のインタフェースの前にチェックマークが付いている場合は、数値キーはエントリに割り当てられません。

パーソナルコンピュータ (PC) 通信と管理コンソール通信はデータ関連です。これらの通信はアプリケーションでのみ使用できます。

お使いの無線機ではアナログ連絡先およびデジタル連絡先を使用できます。各連絡先リストは最大で 500 メンバーです。

アナログ連絡先リストの場合、加入者 ID の表示または編集、および通信アラートの開始を行うことができます。加入者 ID を追加または削除できるのはディーラーだけです。

デジタル連絡先リストでは、加入者 ID を追加または編集できます。加入者 ID を削除できるのはディーラーだけです。

12.7.1

連絡先リストを使用したグループ通信または個別通信の発信

手順:

1. メニューから、[れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> を選択します。
2. 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。
3. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
4. 受話するには、PTT ボタンを放します。

12.7.2

既定の連絡先の設定

手順:

メニューから、 → [れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [しょきちにセット] を選択します。

結果:

正常に設定された場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにレ (チェックマーク) が表示されます。
- ディスプレイの選択した連絡先の横に ✓ が表示されます。

12.8

動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機で設定できます。

通信中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別通信を [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

12.8.1

発信者のエイリアス リストの表示

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

手順:

メニューから、[発信者のエイリアス] → <[優先リスト]> → [しょうさい] の順に選択します。

12.8.2

個別通信を発信者のエイリアス リストから開始

手順:

1. メニューから、[発信者のエイリアス] → <[必要な発信者のエイリアス]> の順に選択します。

- 呼び出すには、PTT ボタンを押し続けます。



12.9

緊急操作

緊急アラームは、重大な状況を示すために使用されます。緊急アラームは、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、随時開始できます。

各チャンネルの緊急ボタンに割り当てることができる緊急モードのタイプは 1 つだけです。無線機は、次の緊急モードをサポートしています。

表 17: 緊急モード

緊急モード	説明
緊急アラーム	緊急アラームは音声通信ではありません。このアラームは、受信するようにプログラムされている無線機に送信される緊急通知です。
通信による緊急アラーム	お使いの無線機が、緊急アラームを送信します。緊急アラームが承認されると、無線機グループは割り当てられた緊急チャンネルを介して通信できます。話すには、PTT ボタンを長押しします。
音声ガイドによる緊急アラーム	お使いの無線機が、緊急アラームを送信します。緊急アラームを承認すると、無線機のマイクが自動的にアクティブになります。これはホット マイクと呼ばれます。ホット マイクを使用すると、PTT ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。  注: <ul style="list-style-type: none">緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、ホット マイクと受信期間が繰り返されます。プログラムされたホット マイクの受信期間中に PTT ボタンを押し続けると、無線機は通信を開始し、ホット マイクの受信期間タイマーを停止します。無線機は緊急モードを保ちます。PTT ボタンを離すと、ホット マイクの受信期間タイマーが再開します。緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接ホット マイクに入ります。
サイレント緊急アラーム	無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。
通信によるサイレント緊急アラーム	無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。無線機では、PTT ボタンを押し続けて通信するまで、緊急のすべての音声インジケータと視覚インジケータが抑制されます。
音声ガイドによるサイレント緊急アラーム	無線機が緊急通知を送信しますが、音声インジケータや視覚的インジケータは示されません。緊急アラームが承認されると、ホット マイクが有効になります。PTT ボタンを押さなくても、無線機グループと通信できます。  注: PTT ボタンを押したときのみ、インジケータが表示されます。

販売店は、緊急オンまたはオフ機能、および緊急ボタンを押す長さを設定できます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

販売店は緊急検索トーンをプログラムできます。トーンがプログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、無線機の緊急モードが終了すると停止されます。

12.9.1

緊急アラームの送信

手順:

プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

結果:

アラームが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに **[アラーム そうしん]** と表示されます。

すべての再試行後にアラームの送信が失敗した場合、無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[アラーム NG]** と表示されます。

12.9.2

通信による緊急アラームの送信

手順:

1. プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイに **[アラーム そうしん]** と表示されます。

2. 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。
3. 通信許可トーンが鳴り止むまで待機し、マイクに向かって話します。
4. 受話するには、**PTT** ボタンを放します。

無線機が、音声アクティビティを事前に設定された期間検出しない場合、通信は終了します。

12.9.3

緊急アラームと音声ガイドの送信

手順:

1. プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

アラームが正常に送信されると、緊急トーンが鳴り、ホット マイクが有効になります。

2. **PTT** ボタンを押さずにマイクに向かって話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイクと通信受信のサイクルの期限が切れた場合。

- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイクの期限が切れた場合。

12.9.4

緊急アラームの受信

緊急アラームを受信すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅する。
- ディスプレイに、緊急アラーム リスト、緊急グループ ID、および送信無線機の ID が表示されます。

手順:

1. 緊急アラーム リストが表示されたら、次のいずれかの操作を実行します。
 - [OK] ボタンを選択します。
 - <必要な ID> を選択します。
2. [OK] ボタンを選択して、アクション オプションを表示します。

12.9.5

緊急モードの再開

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注: 新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できます。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。

結果: 無線機は緊急モードを終了し、再び緊急モードになります。

12.9.6

緊急モードの終了

次のシナリオが発生すると、無線機は自動的に緊急モードを終了します。

- システムから確認応答を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。
- 無線機の電源をオフにした場合。無線機の電源を入れても、緊急モードは自動的に再開されません。
- 現在のチャンネルを緊急事態でないチャンネルに変更した場合。

手順:

プログラムされた [緊急オフ] ボタンを押します。

結果:

緊急事態が正常に終了すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが停止します。
- 赤色の LED が消灯します。

12.10

正面パネル プログラミングの入力

正面パネル プログラミング (FPP) の特定の機能パラメータをカスタマイズして無線機を効果的に利用できます。

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [PGM Radio] の順に選択します。
2. 現在の 8 桁のパスワードを入力します。
3. 必要な設定を選択します。

12.11

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機がしばらくホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

この機能を有効にしているとき、無線機がしばらくの間ホーム チャンネルにセットされていないと、以下の通知が定期的に繰り返されます。

- トーンとホーム チャンネル リマインダのアナウンスが鳴ります。
- ディスプレイに [ノン ホーム チャンネル] と表示されます。

12.11.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

手順:

プログラムされた [ホーム チャンネル リマインダのミュート] ボタンを押します。

結果:

ディスプレイに [HCR サイレンス] と表示されます。

12.11.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダが通知された場合は、新しいホーム チャンネルをセットできます。

手順:

メニューから [ユーティリティ] → [きのうせつてい] → [ホーム チャンネル] → <[必要なチャンネル]> の順に選択します。

結果:

ディスプレイには、選択したホーム チャンネル エイリアスの横に ✓ が表示されます。

12.12

ローン ワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作 (ボタンの押下やチャンネル セレクトの有効化など) がない場合に、緊急事態を発生させることができます。

事前定義した期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに事前に警告します。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合、無線機は販売店がプログラムした緊急事態を開始します。

12.13 モニタ機能

この機能を使用すると、ターゲット無線機のマイクをリモートで有効にできます。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティを監視できます。

12.13.1 チャンネルのモニタ

手順:

1. プログラムされた **[モニタ]** ボタンを押し続けます。
無線機には次の通知が表示されます。
 - 無線機のアクティビティが聞こえます。
 - 黄色の LED が点灯します。
 - ディスプレイに **[モニタ]** アイコンが表示されます。
2. 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。
3. 受信するには、**PTT** ボタンを放します。

12.13.2 連続モニタ

連続モニタ機能は、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタするために使用します。

12.13.2.1 連続モニタの設定

手順:

プログラムされた **[連続モニタ]** ボタンを押します。

結果:

無線機がこのモードに入ると、無線機に次のような通知が表示されます。

- アラートトーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。
- ディスプレイに **[れんぞくモニタ オン]** と **[モニタ]** アイコンが表示されます。

無線機がこのモードを終了すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- アラートトーンが鳴ります。
- 黄色の LED が消灯します。
- ディスプレイに **[れんぞくモニタ オフ]** と表示されます。

12.14

優先度モニタ

優先度モニタを使用すると、無線機はグループ通信中に優先度の高いグループからの送信を受信できます。この機能は、受信グループ リストのメンバーにのみ適用されます。



注：この機能は、グループ スキャン機能が有効な場合にのみアクセスできます。

優先度グループは、優先度 1 (P1) と優先度 2 (P2) です。無線機は、次の優先度に従って送信を受信します。

1. P1 グループの緊急通信。
2. P2 グループの緊急通信。
3. 受信グループ リスト内の非優先グループの緊急通信。
4. 一斉通信。
5. P1 グループ通信。
6. P2 グループ通信。
7. 受信グループ リスト内の非優先グループ。

12.14.1

受信グループ リスト

受信グループ リストでは、グループ スキャン リストのメンバーの作成と割り当てができます。1 つのリストには最大 16 名含めることができます。



注：リストにメンバーを追加するには、最初に無線機でグループを設定する必要があります。

他のシステムの場合は、スキャン リストを編集するように無線機がプログラムされている場合、下記の操作を実行できます。

- グループの追加または削除。
- グループの優先度の追加、削除、編集。
- 加入グループの追加、削除、編集。
- 既存のスキャン リストの新しいスキャン リストへの置き換え。

グループが常設グループとしてプログラムされていると、グループはスキャン リストから編集できません。

12.15

リモート モニタ

この機能を使用して、無線機の ID でターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

ターゲットの無線機のリモート モニタ マイクの選択は、プログラムされたホット マイク設定に従います。ホット マイクのソースには、次の 2 つがあります。

ホット マイク ソース

無線機マイク

マイクの選択

Bluetooth マイクはリモート モニタに使用されません。

ホット マイク ソース

マイク の 選 択

有線アクセサリ マイク

Bluetooth マイクが接続されていない場合は、無線マイクが使用されます。

有線アクセサリ マイクはリモート モニタに使用されます。

有線アクセサリ マイクが接続されていない場合は、Bluetooth マイクが使用されます。

Bluetooth マイクが接続されていない場合は、無線マイクが使用されます。

開始されると、ターゲットの無線機で LED が緑色に点滅します。この機能は、プログラムされた期間が経過した後、または相手の無線機でユーザーが操作を実行したとき、自動的に停止します。

リモート モニタには次の 2 種類があります。

- 認証を使用しないリモート モニタ
- 認証を使用するリモート モニタ

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機のマイクをオンにする場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、無線機プログラミング ソフトウェアを通じて、ターゲットの無線機にプログラムされます。

12.15.1

リモート モニタの開始

手順:

1. 下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
連絡先リストによるリモート モニタの開始	メニューから、[れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [リモート モニタ] の順に選択します。
手動ダイヤルによるリモート モニタの開始	a. メニューから [れんらくさき] → [手動ダイヤル] → [むせんきばんごう] の順に選択します。 b. ID またはエイリアスを入力するか、以前にダイヤルした ID を編集します。 c. [リモート モニタ] を選択します。

2. 必要に応じてパズフレーズを入力します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れるとアラート トーンが鳴り、LED が消灯します。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.16

ミュートモード

ミュートモードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュートモードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュートモードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。

ミュートモードタイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュートモードを有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ~ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュートモードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、無線機の前面を上向きにするか、プログラムされた [ミュートモード] ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュートモードのままになります。



重要: 一度に有効にできるのは、フェイスダウンかフォールアラートのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

12.16.1

ミュートモードのオン

手順:

プログラムされた [ミュートモード] ボタンを押します。

結果:

ミュートモードが有効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブトーンが鳴ります。
- 赤色の LED ライトが点滅し、ミュートモードが終了するまで点滅し続けます。
- ディスプレイに [ミュートモード オン] と表示されます。
- ホーム画面に [ミュートモード] アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートに設定されます。
- ミュートモードタイマーが設定されると、タイマーは設定された時間のカウントダウンを開始します。

12.16.2

ミュートモードタイマーの設定

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ミュートタイマー] の順に選択します。
2. 各桁の数値を編集します。

12.16.3

ミュートモードの終了

ミュートモードタイマーの期限が切れると、無線機は自動的にミュートモードを終了します。ミュートモードは手動で終了することもできます。

手順:

次のいずれかの操作を実行して、ミュートモードを終了します。

- プログラムされた [ミュートモード] ボタンを押します。

- PTT ボタンを押し続け、マイクに向かって話します。
- プログラムされていないいずれかのチャンネルに切り替えます。

結果:

ミュート モードが無効な場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- 点滅している赤色の LED が消灯します。
- ディスプレイに [ミュート モード オフ] と表示されます。
- ホーム画面の [ミュート モード] アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカの状態が復元されます。
- タイマーの期限が切れていない場合でも、ミュート モード タイマーは停止します。

12.17

通知リスト

無線機には、テキスト メッセージ、テレメータ メッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが 1 件以上あると、ディスプレイに [つうち] アイコンが表示されます。

リストでは、最大 40 の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

通知の最大数は、30 件のテキスト メッセージと 10 件の不在着信またはページングです。この最大数は、個々の機能 (ワーク チケット、テキスト メッセージ、不在着信、またはページング) のリスト容量により異なります。

12.17.1

通知リストへのアクセス

手順:

メニューから [つうち] を選択します。

結果: ディスプレイには、使用可能なすべてのイベントが表示されます。

12.18

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。一部の設定も OTAP を使用して設定できます。

OTAP を経由すると、緑色の LED が点滅します。

無線機が大量のデータを受信すると、無線機には次の通知が表示されます。

- PTT ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャンネルがビジー状態になります。

OTAP が完了すると、設定に応じて次のいずれかの応答が無線機に表示されます。

- トーンが鳴ります。ディスプレイに [アップデート リセット] と表示されます。無線機が再起動します。

- 無線機に [リスタート] または [えんきする] オプションが表示されます。[えんきする] を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに [OTAP 遅延タイマー] アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源がオンになると、無線機には次の通知が表示されます。

- プログラムの更新に成功すると、ディスプレイに [ソフト アップデートかんりよう] と表示されます。
- プログラムの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに [ソフト アップデートしっぱい] と表示されます。



注:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

12.19

スキャン

無線機で使用可能な、サポートされているシステムによっては、スキャン時の無線機の動作が異なる場合があります。

チャンネル スキャン

スキャンを開始すると、現在のチャンネルに対してプログラムされたスキャン リストが順番にスキャンされ、音声アクティビティを探します。デジタル チャンネルを使用していて、無線機がアナログ チャンネルにロックされている場合、通信中に無線機は自動的にデジタル モードからアナログ モードに切り替わり、アナログ チャンネルを使用している場合も同じ動作が発生します。

表 18: スキャン方法

方法	説明
メイン チャンネル スキャン (手動)	無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。スキャンするときは、設定に応じて、自動的に最後にスキャンしたアクティブ チャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンが開始されたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。
自動スキャン (自動)	自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

スキャン リストにあるグループまたはチャンネルからの通信を逃した場合は、次のような状況が発生している可能性があります。

- スキャン機能がオンになっていません。
- スキャン リスト メンバーがメニューで無効にされている。
- すでに別の通信に参加しています。



注: 異なるゾーンの無線機がゾーン スキャン リスト メンバーの通信に参加し、応答可能になる前に通信ハング タイマーの期限が切れた場合、スキャン リスト メンバーのゾーンとチャンネルに移動し、新しい通信を開始して応答する必要があります。

12.19.1

スキヤンのオン

手順:

メニューから [スキヤン] → [スキヤンちゆう] → [オン] を選択します。

結果:

スキヤンがオンになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに [スキヤン オン] とスキヤンアイコンが表示されます。

12.19.2

スキヤンのオフ

手順:

メニューから [スキヤン] → [スキヤンちゆう] → [オフ] を選択します。

結果:

スキヤンがオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- LED が消灯します。
- ディスプレイに [スキヤン オフ] と表示され、[スキヤン] アイコンが消えます。

12.19.3

スキヤン トークバック

トークバック機能を使用すると、スキヤンの実行中に送信に応答できます。

選択可能なグループ スキヤン リストから無線機が通信をスキヤンするときに PTT ボタンを押すと、スキヤン トークバック機能の設定に応じて、2 つの異なる状況が発生します。

表 19: スキヤン トークバック タイプ

タイプ	説明
スキヤン トークバック無効	進行中のスキヤンされた通信中に PTT ボタンを押すと、スキヤンされた通信は終了し、新しい通信が開始されます。

タイプ	説明
スキャン トークバック有効	進行中のスキャンされた通信中に PTT ボタンを押すと、スキャンされた通信にトークバックできません。



注:

次の状況が発生している場合:

1. 現在選択されているゾーンのチャンネルの位置に割り当てられていないグループの通信をスキャンしています。
2. 通信のハング タイムを逃した。

次の操作を実行します。

1. 適切なゾーンに切り替える。
2. グループのチャンネルの位置を選択し、そのグループにトークバックする。

12.19.4

迷惑チャンネル

迷惑チャンネルは、不要な通信を継続的に生成するチャンネルです。

不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除して、後で復元することができます。この機能は、選択チャンネルとして指定されているチャンネルには適用されません。

12.19.4.1

迷惑チャンネルの削除

前提条件: 無線機がスキャンされ、迷惑チャンネルになりました。

手順:

1. トーンが聞こえるまで、プログラムされた **[迷惑チャンネル削除]** ボタンを押します。
2. プログラムされた **[迷惑チャンネル削除]** ボタンを放します。

12.19.4.2

迷惑チャンネルの復元

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- 無線機を再起動します。
- スキャンをオフにした後、オンにします。
- **チャンネル セレクタ** ノブでチャンネルを変更します。

12.19.5

投票スキャン

投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログ チャンネルで同じ情報を送信しているエリアを幅広くカバーします。

無線機は、複数の基地局のアナログ チャンネルをスキャンし、ポーティング (投票) プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択します。

投票スキャン中、無線機には次のように表示されます。

- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに [投票スキャン] アイコンが表示されます。

12.19.6

スキャン リスト

個々のチャンネルまたはグループをスキャン リストで作成して割り当てることができます。無線機は、現在のチャンネルまたはグループのスキャン リストで指定されたチャンネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。スキャン リストは受信グループ リストとも呼ばれます。

無線機では、最大 250 のスキャン リストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。各スキャン リストには、アナログとデジタルのエントリを混在させることができます。

メンバー ID の左側にある [優先度] アイコンには、メンバーが優先度 1 と優先度 2 のどちらのチャンネル リストに属しているかが示されます。スキャン リストに複数の優先度 1 および優先度 2 チャンネルを含めることはできません。優先度を [なし] に設定すると、アイコンは表示されません。



注：この機能は Capacity Plus では利用できません。

12.19.6.1

スキャン リストの優先度の編集

手順:

1. グループの優先度を表示および編集するには、メニューから [スキャン] → [リストへんしゅう] → <[必要なエリアス]> → [ゆうせんど] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 必要なエリアスを優先度 1 として編集するには、[ゆうせん 1] を選択します。
 - 必要なエリアスを優先度 2 として編集するには、[ゆうせん 2] を選択します。
 - 必要なエリアスを優先度なしとして編集するには、[なし] を選択します。
3. 別のグループが優先度 1 または優先度 2 に割り当てられている場合、ディスプレイに [うわがき?] と表示されているときに、現在の優先度を上書きできます。
 - 上書きするには、[はい] を選択します。
 - 前の画面に戻るには、[いいえ] を選択します。

12.19.6.2

スキャン リストの表示

手順:

1. メニューから [スキャン] → [スキャン リスト] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - エイリアス検索を実行するには、エイリアスに必要な文字を入力します。
 - エイリアスを手動で検索するには、右または左ボタンで連絡先リストをスクロールします。

12.19.6.3

スキャン リストへの新規エントリの追加

手順:

1. メニューから [スキャン] → [スキャン リスト] → [メンバーつか] → <[必要なエイリアス]> の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 新しいエイリアスを優先度 1 として追加するには、[ゆうせん 1] を選択します。
 - 新しいエイリアスを優先度 2 として追加するには、[ゆうせん 2] を選択します。
 - 新しいエイリアスを優先度なしで追加するには、[なし] を選択します。
3. 別のグループが優先度 1 または優先度 2 に割り当てられている場合、ディスプレイに [うわがき?] と表示されているときに、現在の優先度を上書きできます。
 - 上書きするには、[はい] を選択します。
 - 前の画面に戻るには、[いいえ] を選択します。
4. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 別の項目を追加するには、[はい] を選択します。
 - 現在のリストを保存するには、[いいえ] を選択します。

12.19.6.4

スキャン リストからのエントリの削除

手順:

1. メニューから [スキャン] → [スキャン リスト] → <[必要なエイリアス]> → [さくじょ] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - エイリアスを削除するには、[はい] を選択します。
 - 前の画面に戻るには、[いいえ] を選択します。

12.19.7

複数グループの加入

無線機に 1 サイトで最大 7 つのグループを設定できます。

受信グループ リストの 16 グループから、最大 7 つのグループを加入グループとして割り当てることができます。選択したグループおよび優先度グループは、自動的に加入として処理されます。

12.19.7.1

加入グループの追加

手順:

1. メニューから、[スキャン] → [リストへんしゅう] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [加入の編集] の順に選択します。
2. 加入グループを追加するには、[オン] を選択します。

結果:

加入が正常にシステムに追加されると、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

加入に最大数の7つのグループを選択すると、ディスプレイに「リストがまんばい」と表示されます。



注:

「リストへんしゅう」で、グループの隣にある ■ は、登録が進行中であるか、加入グループの追加に失敗したことを示します。

グループの隣にある ✓ は、加入グループが成功したことを示します。

。

12.19.7.2

加入グループの削除

手順:

1. メニューから、[スキャン]→[リストへんしゅう]→<[必要な ID またはエイリアス]>→[加入の編集]の順に選択します。
2. 加入グループを削除するには、[オフ]を選択します。

結果: 「リストへんしゅう」で、選択したグループ ID の隣に ✓ が表示されなくなります。

12.20

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。



注: 詳細については、販売店にお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に応答して送信通信を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

12.20.1

応答禁止の設定

手順:

プログラムされた [おうとうきんし] ボタンを押します。

結果:

応答禁止が正常にオフになると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

応答禁止のオフに失敗した場合、無線機には次の通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

12.21

無線機チェック

有効である場合、この機能を使用することで、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、その無線機の利用者（ユーザー）を呼び出さずに判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。

この機能は、加入者 ID にのみ適用されます。

12.21.1

無線機チェックの送信

手順:

メニューから、[れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [むせんきチェック] を選択します。

結果:

ターゲットの無線機がシステムでアクティブになっている場合、無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [むせんきしようか] と表示されます。

ターゲットの無線機がシステムで非アクティブの場合、無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [むせんきしようふか] と表示されます。

12.22

受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。

ディスプレイでは、RSSI アイコンが右上端に表示されます。

12.22.1

RSSI 値の表示

手順:

ホーム画面で、5 秒以内に左ボタンを 3 回、右ボタンを 3 回選択します。

結果: ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

12.23

レンタル タイマー

レンタル タイマー機能を使用すると、無線機レンタル取扱店は、無線機の許可されたレンタル期間を設定し、タイマーで指定された期間以降は無線機を自動的に無効にできます。

無線機には、最長レンタル期間 999 時間と最長レンタル延長期間 99 時間をプログラムできます。

タイマーは、無線機の使用時間を計算し、使用時間があらかじめ決められたレンタル期間に達すると無線機を無効にします。

レンタル期間が切れた後は、販売店がレンタル タイマーをリセットするまで無線機は機能を停止します。



注: この機能は XiR P6620i および XiR P6600i モデルのみに適用されます。

12.23.1

レンタル タイマー情報へのアクセス

手順:

メニューから [ユーティリティ] → [レンタル タイマー] → [情報] の順に選択します。

結果: ディスプレイに時間が表示されます。

12.23.2

レンタル有効期限通知

レンタル有効期限通知機能は、レンタル期間の満了が近づいているときに通知します。

無線機は、タイマーの有効期限を表示と音声で通知します。

音声リマインダの頻度については、音声ガイダンスは次のように鳴ります。

- 最初のリマインダから 1 時間後ごと、レンタル期間が終了する 2 時間前まで。
- レンタル期間が満了する 2 時間前に 2 回。
- レンタル期間が満了する 3 分前、2 分前、1 分前に 2 回。

ディスプレイ リマインダの場合、無線機ディスプレイには、レンタル期間が満了するまでの時間数を示す一時的な通知リマインダが表示されます。

有効期限が切れる前の 3 分間、無線機ディスプレイに、レンタル期間が満了するまでの分数を示す一時的な通知リマインダが表示されます。

12.23.3

レンタル期間の延長

無線機には、最大 99 時間のレンタル期間延長をプログラムできます。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
メニューからのレンタル期間の延長	<p>a. メニューから、[ユーティリティ] → [レンタル タイマー] → [延長] を選択します。</p> <p>b. メニュー/OK をボタン押します。</p> <p> 注: レンタル期間は 1 回のみ延長できません。機能を有効にすると、延長チェックボックスはグレー表示されます。</p>
ボタンからのレンタル期間の延長	<p>サイド ボタン 2 を 6 回続けて押します。</p> <p> 注: レンタル期間は 1 回のみ延長できません。ボタンをもう一度押すと、ネガティブインジケータ トーンが鳴ります。</p>

12.24

セキュリティ

この機能では、システム内の任意の無線機の機能停止または復帰を切り替えられます。

たとえば、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機が回収されたときに有効化または復帰できます。

無線機が機能停止状態の場合、受信機は機能停止手順が実行されたシステムでユーザーが開始したあらゆるサービスを要求または受信できません。ただし、無線機は別のシステムに切り替えることができます。機能停止状態または無効であっても、無線機は GNSS 位置報告を送信し続けるので、リモートでモニタできます。

認証の有無にかかわらず、無線機を停止または再稼働できます。

認証済み無線機無効化はセル機能であり、無線機を有効または無効にするときに確認が必要です。無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機を無効にする場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、顧客プログラミング ソフトウェア (CPS) を使用して、ターゲット無線機に事前にプログラムしておきます。



注: この機能を有効にするには、ディーラーにお問い合わせください。

12.24.1

無線機の無効化

手順:

1. メニューから、[れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [無線停止] を選択します。
2. 必要に応じてパズフレーズを入力します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.24.2

無線機の有効化

手順:

1. メニューから、[れんらくさき] → <[必要な ID またはエイリアス]> → [てしかいじょ] を選択します。
2. 必要に応じてパズフレーズを入力します。

結果:

リクエストが正常に行われた場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

リクエストが失敗した場合、無線機に次のような通知が表示されます。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.25

サービスとサポート

サービスコードを使用することで、無線機に必要なサービスおよびサポートのタイプを特定できます。



注: サービスおよびサポート機能は、XiR P6600i シリーズ携帯型無線機にのみ適用されます。

フル キーパッド モデルとリミテッド キーパッド モデルの場合、無線機のディスプレイに通知アラートとサービスコードが表示されます。

キーパッドなしモデルの場合、各サービスコードメッセージは音声ガイドでのみ利用可能です。



注: 無線機プログラミング ソフトウェアで音声ガイド機能が有効になっていない場合、キーパッドなしモデルでは、サービスモードとサービス関連のガイドは利用できません。

サービスコードの詳細については、<https://learning.motorolasolutions.com> の『MOTOTRBO™ 無線機サービスコードトラブルシューティングガイド』(MN009539A01) を参照してください。

12.25.1

通知アクセス

通知を確認することで、無線機に必要なサービスおよびサポートのタイプを特定できます。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
単一の通知アラートへのアクセス	通知アラートとそれぞれのサービスコードを受信した場合は、次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none">サービスコードを削除するには、[メニュー/OK] → [はい] を押します。前のメニューに戻るには、[戻る/ホーム] ボタンを押します。
複数の通知アラートへのアクセス	通知アラートと選択した通知を受信した場合は、次のアクションを実行します。 <ol style="list-style-type: none">サービスコードの詳細を表示するには、<関連する通知>を選択します。下記の作業のどちらかを実行します。<ul style="list-style-type: none">サービスコードを削除するには、[メニュー/OK] → [はい] を押します。前のメニューに戻るには、[戻る/ホーム] ボタンを押します。



12.25.2

サービスとサポートへのアクセス

サービスコードを使用することで、無線機に必要なサービスおよびサポートのタイプを特定できます。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
[サービスとサポート] メニューからサービスコードへのアクセス	a. メニューから [サービスとサポート] → <サービスコードのタイプ> → <関連する通知> を選択します。 b. 下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> サービスコードを削除するには、[メニュー/OK] → [はい] を押します。 前のメニューに戻るには、[戻る/ホーム] ボタンを押します。
サポートの利用リンクの表示	a. メニューから [サービスとサポート] → [サポートの利用] を選択します。 b. Web ブラウザに URL を入力します。
サービスモードへのアクセス  注: キーボードなしモデルのみ適用可能です。	a. 無線機の電源をオンにしてから 10 秒以内に、 サイドボタン 1 を 5 秒間長押しします。 b. 下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> すべてのサービスメッセージを聞くには、サイドボタン 1 をもう一度押してください。 すべてのサービスメッセージを削除するには、すべてのサービスメッセージの削除が完了したことを示す有効なトーンが聞こえるまで、サイドボタン 2 を押し続けてください。 c. サービスモードを終了するには、無線機の電源を入れ直します。  注: 無線機がサービスモードの場合、通常の無線機操作は無効になります。

12.25.3

サービス連絡先の表示

サービス連絡先の表示機能は、ディスプレイ付きの無線機モデルでのみ使用できます。

手順:

メニューから [サービスとサポート] → [サービス連絡先] の順に選択します。

結果: 無線機にサービス連絡先の詳細が表示されます。

12.26

テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからデータを受信できます。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注:

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、販売店にお問い合わせください。

12.26.1

テキスト メッセージの表示

手順:

1. メニューから [メッセージ] を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - テキスト メッセージまたはテレメータ ステータスで、[じゅしん BOX] → <[必要なメッセージ]> を選択します。
 - [送信済みテキスト メッセージ] で、[そうしん BOX] → <[必要なメッセージ]> を選択します。

結果:

[じゅしん BOX]、[したがき]、または [そうしん BOX] フォルダが空の場合:

- キー操作音が有効になっている場合は、トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [リストにありません] と表示されます。

[じゅしん BOX]、[したがき]、または [そうしん BOX] フォルダが空でない場合、メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

テレメータ ステータスの場合、メッセージに返信することはできず、ディスプレイには [テレメータ: <ステータス メッセージ>] と表示されます。

12.26.2

テキスト メッセージの送信

前提条件: メッセージを作成します。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

オプション	操作
送信済みテキスト メッセージの送信	送信されたメッセージから、[メニュー/OK] → [さいそうしん] を選択します。

オプション	操作
クイック テキスト メッセージの送信	1. メニューから [メッセージ] → [クイック テキスト] を選択します。 2. 下記の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ○ <[必要な ID またはエイリアス]> を選択します。
テキスト メッセージの再送信	[さいそうしん] を選択します。

結果:

テキスト メッセージが正常に送信されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

テキスト メッセージの送信に失敗すると、ディスプレイに次のオプションが表示されます。

- さいそうしん
- てんそう
- 編集

12.26.3

テキスト メッセージへの応答

テキスト メッセージを受信すると、無線機に以下の項目が表示されます。

- 送信者の ID またはエイリアスを含む通知リスト。
- [メッセージ] アイコン。



注: PTT ボタンを押すと、無線機はテキスト メッセージ アラート画面を終了し、送信者に個別通信またはグループ通信を発信します。

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- テキスト メッセージを読むには、[読み取り] を選択します。
- テキストメッセージを後で読むには、[あとでひょうじ] を選択します。
- テキスト メッセージを削除するには、[さくじょ] を選択します。

12.26.4

テキスト メッセージの転送

手順:

1. [さいそうしん] オプション画面で、[メッセージ] を選択します。
2. [じゅしん BOX] または [そうしん BOX] フォルダからテキスト メッセージを転送するには、<[必要なメッセージ]> → [てんそう] を選択します。

結果:

テキスト メッセージが正常に転送されると、無線機に次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

テキストメッセージの転送に失敗すると、ディスプレイに次のように表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴る。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

12.26.5

テキストメッセージの削除

手順:

1. メニューから **[メッセージ]** を選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - テキストメッセージを削除するには、**[受信トレイ]** → **<[必要なテキストメッセージ]>** → **[メニュー/OK]** → **[削除]** を選択します。
 - すべてのテキストメッセージを削除するには、**[受信トレイ]** → **[すべて削除]** を選択します。
 - 送信済みテキストメッセージを削除するには、**[そうしん BOX]** → **<[必要なテキストメッセージ]>** → **[メニュー/OK]** → **[削除]** を選択します。
 - すべての送信済みテキストメッセージを削除するには、**[そうしん BOX]** → **[すべて削除]** を選択します。

章 13

ユーティリティ

この章では、無線機で使用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

13.1

ダイレクトモード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通信範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。



注：この機能は、同じ周波数の Capacity Plus-シングルサイト、Capacity Plus-マルチサイト、および市民バンドチャンネルでは利用できません。

13.1.1

リピータとダイレクトモードの切り替え

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ダイレクトモード] の順に選択します。
2. [メニュー/OK] ボタンを選択して、ダイレクトモードとリピータモードを切り替えます。

結果:

ダイレクトモードが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

ダイレクトモードが無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

13.2

無線機のトーンとアラートの設定

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [トーン/アラート] を選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - ぜん トーン
 - きょか トーン
 - キー そうさおん
 - PU トーン
 - [Vol オフセット] → <[必要な音量]>。

結果: 設定の隣に ✓ が表示されます。

13.3

パワーレベルの設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [でんげん] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - かなり離れた場所にある無線機と交信できるようにするには、[高] を選択します。
 - 近接した無線機との通信を有効にするには、[低] を選択します。



注: この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルには適用されません。

13.4

ディスプレイ設定の調整

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ひょうじ] の順に選択します。
2. 次のオプションのいずれかを選択します。
 - デイモード/ナイトモード
 - きど
 - オトバックライト
 - バックライトタイマ
 - タイムメニュー
 - しょきがめん

13.5

スケルチレベルの設定

信号強度が低い不要な通信や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、スケルチレベルを調整できます。

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [スケルチ] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ノーマル スケルチレベルの場合は、[ノーマル スケルチ] を選択します。
 - 不要な通信や背景雑音を除外するには、[げんじゅうスケルチ] を選択します。



注: この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルには適用されません。

13.6

キー ロック オプション

この機能を使用すると、無線機を使用していないときに誤ってボタンを押したり、チャンネルを変更したりすることを防ぐことができます。必要に応じて、キー、チャンネル セレクタ ノブのいずれかをロック、またはその両方をロックすることを選択できます。

販売店は、無線機プログラミング ソフトウェアを使用して、次のいずれかのオプションを設定できます。

- キーをロック
- チャンネル セレクタ ノブをロック
- キーとチャンネル セレクタ ノブをロック

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

13.6.1

キーパッドのロックとロック解除

手順:

下記の操作のいずれかを実行します。

- キーパッドをロックするには、メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [キー ロック] の順に選択します。
- キーパッドのロックを解除するには、[メニュー/OK] → * または削除キーを押します。

結果:

キーパッドがロックされている場合、ディスプレイで [ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

キーパッドがロック解除されている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

13.7

言語の設定

手順:

メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [言語] → <[必要な言語]> の順に選択します。

結果: 選択した言語の隣に ✓ が表示されます。

13.8

LED インジケータの設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [LED インジケータ] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - LED インジケータを有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。
 - LED インジケータを無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

LED インジケータが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

LED インジケータが無効になっている場合は、無線機の表示は次のようになります。

- 「ゆうこう」の隣の ✓ が消えます。
- ディスプレイのバックライトとキーパッドのバックライトは自動的にオフになります。

13.9

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力する必要があります。

無線機では、4桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

13.9.1

パスワードによる無線機へのアクセス

前提条件: 無線機の電源を入れます。

手順:

1. 4桁のパスワードを入力します。
2. **メニュー/OK** ボタンを選択します。

結果:

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源がオンになります。

パスワードを間違えて入力すると、トーンが鳴り、黄色い LED が点灯してディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。



注:

この手順を繰り返して、パスワードを入力できます。無線機が 15 分間ロック状態になるまでに 3 回試行できます。ディスプレイに「むせんきロックずみ」と表示されます。

ロック状態の無線機は、**オン/オフ/音量ノブ**およびプログラムされた **[バックライト]** ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の間に無線機の電源を再起動すると、タイマーが再開します。


13.9.2

ロック状態の無線機をロック解除する

手順:

ロック状態の無線機のロックを解除するには、次のいずれかの操作を実行します。

オプション	操作
無線機の電源がオンの場合は、ロック状態の無線機をロック解除する	a. 15 分間待機します。 b. 「パスワードによる無線機へのアクセス」の手順で、無線機にアクセスします。


オプション	操作
無線機の電源がオフの場合は、ロック状態の無線機をロック解除する	<p>a. 無線機の電源を入れます。</p> <p> 注: ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。</p> <p>b. 15 分間待機します。</p> <p>c. 「パスワードによる無線機へのアクセス」の手順で、無線機にアクセスします。</p>

13.9.3

パスワードロックの設定

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [パスワードロック] → <[必要なパスワード]> を選択します。

 注: 初めてこの機能を使うときは、ディスプレイに「新しいパスワードを設定」と表示され、新しいパスワードを設定します。パスワードロック機能を設定する前に、新しいパスワードを設定する必要があります。

2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - パスワードロックを有効にするには、[オン] を選択します。
 - パスワードロックを無効にするには、[オフ] を選択します。

13.9.4

パスワードの変更

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [パスワードロック] → <[必要なパスワード]> → [パスワードヘンコウ] を選択します。
2. 4桁の新規パスワードを入力します。
3. 新しいパスワードを確定するには、同じ4桁のパスワードを再入力します。

結果:


パスワードが正常に変更されると、ディスプレイに「パスワードへんこうずみ」と表示されます。

パスワードが正常に変更されなかった場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示され、前のメニューに戻ります。

13.10

音声ガイド

この機能を使用すると、無線機は現在割り当てられているゾーンまたはチャンネルを音声で通知できます。この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。

 注: 音声ガイド機能は、CPS でのみ有効にできます。有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

13.10.1

音声ガイドの設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [音声ガイド] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 音声ガイドを有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。
 - 音声ガイドを無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

音声ガイドが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

音声ガイドが無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

13.11

自動通信転送の設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [つうしんてんそう] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - 通信転送を有効にするには、メニュー/OK ボタンを選択します。
 - 通信転送を無効にするには、メニュー/OK ボタンを選択します。

結果:

通信転送が有効になっている場合は、[オン] の横に ✓ が表示されます。

13.12

マイクの自動ゲイン制御の設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] の順に選択します
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - アナログマイクの自動ゲイン制御で、[Mic AGC-A] を選択します。
 - デジタルマイクの自動ゲイン制御で、[Mic AGC-D] を選択します。
3. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - Mic AGC を有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。
 - Mic AGC を無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

Mic AGC が有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

Mic AGC が無効になっている場合は、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

13.13

ノイズ抑制の設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ノイズ抑制] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ノイズ抑制を有効にするには、[基本設定] を選択します。
 - ノイズ抑制を無効にするには、[無効] を選択します。

13.14

ハウリング抑制機能の設定

手順:

1. メニューから、[ユーティリティ] → [きのうせってい] → [ハウリングよくせい] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - ハウリング抑制機能を有効にするには、メニュー/OK ボタンを選択します。
 - ハウリング抑制機能を無効にするには、メニュー/OK ボタンを選択します。

13.15

インテリジェント オーディオの設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [Int オーディオ] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - インテリジェント オーディオを有効にするには、[オン] を選択します。
 - インテリジェント オーディオを無効にするには、[オフ] を選択します。



注: 周辺環境の背景雑音が大きい場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。

インテリジェント オーディオ機能は受信専用機能です。

この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

13.16

プライバシー

この機能により、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぎます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はクリアです。

プライバシー対応で送信するには、無線機のチャンネルにプライバシーを設定する必要があります。ただし、プライバシーを設定していなくても受信はできます。

無線機のモデルによっては、プライバシー機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、販売店にお問い合わせください。



注:

一度に割り当てることができるのは、1つのタイプのプライバシーのみです。

次の表では、無線機に表示されるプライバシー タイプと設定について説明します。

表 20: プライバシー タイプと設定

タイプ	設定
基本プライバシー	プライバシー
スクランブル プライバシー	スクランブル プライバシー

13.16.1

プライバシーの設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせつてい] の順に選択します。
2. 設定されたプライバシーの種類に応じて、プライバシー設定を選択します。
3. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - プライバシーを有効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。
 - プライバシーを無効にするには、[メニュー/OK] ボタンを選択します。

結果:

プライバシーが有効になっている場合は、[ゆうこう] の隣に ✓ が表示されます。

プライバシーが無効になっている場合、[ゆうこう] の隣の ✓ が消えます。

13.16.2

秘話対応通信

秘話モード対応送信を送信するには、現在選択されているチャネル位置で、秘話モード機能が有効になっている必要があります。プライバシー対応チャネル上で、無線機はクリアな送信を引き続き受信できます。

現在選択されているチャネル位置で秘話モードが有効にされている場合は、お使いの無線機から発信されるすべての音声送信がスクランブルされます。グループ通信、マルチグループ通信、スキャンされた通信間のトークバック、サイトー斉通信、緊急通信、個別通信が対象です。お使いの無線機と同じキー値とキー ID を持つ受信側無線機のみが、送信のスクランブルを解除できます。

プライバシー対応の通信またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同一タイプのプライバシー キーを無線機にプログラムする必要があります。無線機が異なるプライバシー キーを使用したスクランブル通信を受信すると、音声理解できないノイズになります。

13.17

音声起動送信 (VOX)

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャネルでハンズフリーの音声起動通信を開始できます。VOX 対応アクセサリが音声を検出すると、無線機は事前設定された期間、自動的に送信します。



注:

この機能は、同じ周波数の市民バンド チャネルには適用されません。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

13.17.1

音声起動送信の設定

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きのうせってい] → [VOX] の順に選択します。
2. 下記の操作のいずれかを実行します。
 - VOX を有効にするには、[オン] を選択します。
 - VOX を無効にするには、[オフ] を選択します。

結果: VOX がオンの場合、ディスプレイで [オン] の隣に ✓ が表示されます。

13.18

無線機情報へのアクセス

手順:

1. メニューから [ユーティリティ] → [きき じょうほう] の順に選択します。
2. 無線機情報にアクセスするには、下記の操作のどちらかを実行します。
 - バッテリ情報を確認するには、[バッテリー INFO] を選択します。
 - 無線機 ID とエイリアスを確認するには、[ID] を選択します。
 - ファームウェアとコードプラグのバージョンを確認するには、[バージョン] を選択します。
 - 最新のソフトウェア アップデート情報を確認するには、[ソフト アップデート] を選択します。

章 14

認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、お使いの無線機の生産性を向上させるアクセサリのリストをご用意しています。

表 21: アンテナ

部品番号	説明
PMAD4116_	VHF、144 ~ 165MHz、ヘリカル アンテナ
PMAD4117_	VHF、136 ~ 155MHz、ヘリカル アンテナ
PMAD4118_	VHF、152 ~ 174MHz、ヘリカル アンテナ
PMAD4119_	VHF、136 ~ 148MHz、スタビー アンテナ
PMAD4120_	VHF、146 ~ 160MHz、スタビー アンテナ
PMAD4121_	VHF、160 ~ 174MHz、スタビー アンテナ
PMAD4133_	VHF、360 ~ 400MHz、スタビー アンテナ
PMAD4136_	VHF、360 ~ 380MHz、スタビー アンテナ
PMAD4139_	VHF、350 ~ 400MHz、ホイップ アンテナ
PMAE4069_	UHF、400 ~ 450MHz、スタビー アンテナ
PMAE4070_	UHF、440 ~ 490MHz、スタビー アンテナ
PMAE4071_	UHF、470 ~ 527MHz、スタビー アンテナ
PMAE4079_	UHF、403 ~ 527MHz、スリム ホイップ アンテナ
PMAE4092_	UHF、480 ~ 527MHz スタビー アンテナ キット

表 22: バッテリ

部品番号	説明
PMNN4415_	Core NiMH、1400mAh IP56 バッテリ
PMNN4416_	Core Slim Li-Ion、1600mAh IP56 バッテリ
PMNN4417_	IMPRES Li-Ion Slim、1600mAh IP56 バッテリ
PMNN4418_	IMPRES Li-Ion Non-FM、2250mAh IP56 バッテリ
PMNN4435_R	Li-Mn 1400mAh 耐低温 -30°C 防水 IP67 バッテリ
PMNN4463_	バッテリ Li-Ion、IP57 2050mAh
PMNN4488_	振動ベルト クリップ用 IMPRES Li-Ion、3000mAh、IP68 バッテリ
PMNN4490 ³	IMPRES Li-Ion、2900mAh TIA4950 HAZLOC IP68 バッテリ
PMNN4491_	IMPRES Slim Li-Ion、2100mAh IP68 バッテリ
PMNN4493_	IMPRES Li-Ion、3000mAh IP68 バッテリ、低電圧
PMNN4543_	Core Li-Ion、2450mAh IP68 バッテリ

³ XiR P6620i および XiR P6600i のみに適用されます。

部品番号	説明
PMNN4544_	IMPRES Li-Ion、2450mAh IP68 バッテリ

表 23: キャリー デバイス

部品番号	説明
PMLN4651_	2 インチ ベルト幅ベルト クリップ
PMLN5610_	2.5 インチ交換レザー スイベル ベルト ループ
PMLN5611_	3 インチ交換レザー スイベル ベルト ループ
PMLN5863_	リミテッド キーパッド無線機用 3 インチ固定ベルト ループ付きハードレザー キャリー ケース
PMLN5865_	リミテッド キーパッド無線機用 3 インチ スイベル ベルト ループ付きハードレザー キャリー ケース
PMLN5867_	リミテッド キーパッド無線機用 2.5 インチ スイベル ベルト ループ付きハードレザー キャリー ケース
PMLN5869_	リミテッド キーパッド無線機用 3 インチ固定ベルト ループ付きナイロン キャリー ケース
PMLN7008_	2.5 インチ ベルト幅ベルト クリップ
PMLN7296_	2.5 インチ ベルト幅振動ベルト クリップ
RLN6486_	レザー無線機ストラップ
RLN6487_	レザー無線機ストラップ、サイズ XL
RLN6488_	防振レザー無線機ストラップ

表 24: 充電器・電源アダプタ

部品番号	説明
HKVN4036_	IMPRES バッテリ フリート管理ライセンス キー
NNTN7392_	IMPRES バッテリ リーダー
NNTN7616_	IMPRES 車載充電器
NNTN7677_	IMPRES バッテリ フリート管理マルチユニット充電器インタフェース ユニット
NLN7967_	IMPRES マルチユニット充電器用壁面取り付けブラケット
NNTN8045_	IMPRES バッテリ フリート管理シングルユニット充電器インタフェース ユニット
NNTN8224_	電源付き標準シングルユニット充電器、リニア、中国
NNTN8274_	電源付き標準シングルユニット充電器、スイッチモード - 21W、英国/香港
NNTN8276_	電源付き標準シングルユニット充電器、スイッチモード - 21W、日本
NNTN8277_	電源付き標準シングルユニット充電器、スイッチモード - 21W、韓国
NNTN8279_	拡張電源付き標準シングルユニット充電器、インド
NNTN8525_	携帯用充電器、電圧調整型車載充電器アダプタ付き急速充電器、カスタム充電器台、取り付けブラケット、コイル コード

部品番号	説明
PMPN4527_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器、台のみ
PMPN4571_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、オーストラリア/ニュージーランド プラグ
PMPN4572_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、英国/香港プラグ
PMPN4573_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、アルゼンチン プラグ
PMPN4574_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、韓国プラグ
PMPN4575_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、ブラジル プラグ
PMPN4576_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、米国プラグ
PMPN4578_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、日本プラグ
PMPN4579_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、中国プラグ
PMPN4582_	IMPRES シングルユニット デスクトップ充電器 (エクステンション付き)、インド プラグ
WPLN4211_	IMPRES マルチユニット充電器、台のみ
WPLN4217_	IMPRES マルチユニット充電器、韓国プラグ
WPLN4218_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、台のみ
WPLN4224_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、韓国プラグ
WPLN4226_	IMPRES シングルユニット充電器、台のみ
WPLN4232_	IMPRES モード切り替え電源付きシングルユニット充電器
WPLN4255_	IMPRES シングルユニット充電器
WPLN4256_	IMPRES シングルユニット充電器

表 25: 小型イヤホンとイヤピース

部品番号	説明
AARLN4885_	受信限定カバー付きコイル コード型イヤホン、リモート スピーカ マイク用
PMLN4620_	リモート スピーカ マイク用 D シェル受信限定イヤピース (1 サイズ)
PMLN5727_	イヤピース インライン マイク/PTT スイベル、MagOne
PMLN5732_	ブーム マイク付きイヤセット、MagOne
PMLN5733_	インライン マイク/PTT 付きイヤホン、MagOne
PMLN6757_	調整機能付き D 型イヤピース (インラインマイク、PTT ボタン付き)
PMLN7396_	リモート スピーカ マイク付き調節可能受信限定イヤピース
PMLN7560	透明チューブ付き受信限定イヤピース

部品番号	説明
RLN4941_	リモート スピーカ マイク用透明チューブおよびゴム製耳栓付き受信限定イヤピース
RLN6511_	クリア EP7-小型聴覚保護具 [ソニック ディフェンダー] ウルトラ イヤプラグ、28dB ノイズ抑制
RLN6512_	クリア EP7-中型聴覚保護具 [ソニック ディフェンダー] ウルトラ イヤプラグ、28dB ノイズ抑制
RLN6513_	クリア EP7-大型聴覚保護具 [ソニック ディフェンダー] ウルトラ イヤプラグ、28dB ノイズ抑制
WADN4190_	リモート スピーカ マイク用受信限定フレキシブル イヤピース

表 26: ヘッドセットとヘッドセット アクセサリ

部品番号	説明
PMLN5731_	ヘビー デューティ ヘッドセット、インライン PTT によるノイズ キャンセリング
PMLN6635_	インライン プッシュアウトーク/ブーム マイク付き軽量オーバー ザヘッドヘッドセット シングル マフ
PMLN6759_	テンブル トランスデューサ
PMLN6760_	次世代ビハインド ザヘッドヘビー デューティ ヘッドセット スリム
PMLN6761_	超軽量ヘッドセット、MagOne
PMLN6763_	次世代ビハインド ザヘッドヘビー デューティ ヘッドセット、スリム TIA 4950
PMLN7464_	オーバー ザヘッドヘビー デューティ ヘッドセット、スリム
PMLN7465_	オーバー ザヘッドヘビー デューティ ヘッドセット/TIA、スリム

表 27: リモート スピーカ マイク

部品番号	説明
PMMN4071_	IMPRES リモート スピーカ マイク大、3.5mm ジャックによるノイズ キャンセリング
PMMN4073_	IMPRES リモート スピーカ マイク小、3.5mm ジャック付き
PMMN4075_	リモート スピーカ マイク小、緊急ボタンなし、IP57
PMMN4076_	リモート スピーカ マイク小、3.5mm ジャック付き
PMMN4108_	IMPRES リモート スピーカ マイク Windporting、IP67

表 28: 監視アクセサリ

部品番号	説明
PMLN6754_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 3 線式監視キット、黒
PMLN6755_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 3 線式監視キット、ベージュ

部品番号	説明
PMLN7269_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 2 線式監視キット、黒
PMLN7270_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 2 線式監視キット、ページユ

表 29: その他のアクセサリ

部品番号	説明
HLN6602_	ユニバーサル チェスト パック
HLN9985_	大型キャリー ストラップ付き防水バッグ
NTN5243_	調整可能携帯用ナイロン ストラップ (黒、キャリー ケースの D リングに取り付け)
RLN4295_	小型クリップ、肩章ストラップ
RLN4570_	ブレイクアウェイ チェスト パック
RLN4815_	ユニバーサル無線機パックとユーティリティ ケース、ファニー パック
1505596Z02	RLN4570_ と HLN6602_ 用交換ストラップ
4280384F89	ユニバーサル無線機パック、延長ベルト
4200865599	レザー ベルト、1.75 インチ幅
0104058J40	ダスト カバー